

# 開一小だより

第461号  
令和7年11月29日発行  
練馬区立開進第一小学校  
<https://cms.nerima-tsky.ed.jp/swas/index.php?id=110>



## 「学力向上」、「体力向上」のために

校長 海老沼 寛之

昨日は**音楽会（児童鑑賞日）**でした。10月末の運動会から約1ヶ月しか空かずにまた大きな学校行事を行いましたが、子供たちはこれまで個人や集団で合唱・合奏の練習をよく頑張ってきました。その練習の成果を発揮するとともに、自分たちの持ち味を存分に歌、演奏に表現しながら素晴らしい音楽の発表をしてくださいました。今日の保護者鑑賞日でも、きっと昨日に負けないくらい、いやきっと保護者・地域の方々が来てくださるので、昨日にも増して力を発揮した合唱・合奏を披露してくれると思います。

さて、以下は、4月に6年生が実施した**「全国学力・学習状況調査」**の結果です。

### (1)国語

	児童数	平均正答数	平均正答率	令和6年度平均正答率
本校	102人	10.2/14問	73%	80%
東京都 (公立)	93,881人	9.8/14問	70%	70%
全国 (公立)	936,137人	9.4/14問	66.8%	67.7%

### (2)算数

	児童数	平均正答数	平均正答率	令和6年度平均正答率
本校	102人	11.3/16問	71%	78%
東京都 (公立)	93,933人	10.2/16問	64%	68%
全国 (公立)	936,399人	9.3/16問	58%	63.4%

### (3)理科

	児童数	平均正答数	平均正答率	令和6年度平均正答率
本校	102人	11.5/17問	68%	
東京都 (公立)	93,968人	10.1/17問	60%	
全国 (公立)	936,576人	9.7/17問	57.1%	理科は数年に一度の実施のため、令和6年度は、未実施でした。

6年生の4月に行ったテストですので、5年生だった前年度までの学習の積み重ね、子供たち一人一人の学力がこの結果に反映されています。**いずれも、全国・東京都の結果よりも高いです。**

各教科の結果詳細、授業改善の方向性を以下、整理しました。

### 1 調査結果の総括

本校は、国語、算数、理科の全教科において、東京都（公立）および全国（公立）の平均正答率を上回る優れた結果を示しました。

教科ごとの平均正答率は、

○国語 73% (+ 3)



4月17日に6年生が、  
三つの教科のテストを  
頑張って行いました。

○算数 71% (+ 7)

◎理科 68% (+ 10.9) であり、

いずれも東京都平均（国語 70%、算数 64%、理科 57.1%）を明確に凌駕しています。

特に理科の調査結果は、東京都平均との差が最も大きく、学校全体の学力水準の高さがうかがえます。

各教科の学習指導要領の領域別に見ても成績は東京都平均を上回っています。

国語では「知識及び技能」、「思考力、判断力、表現力」のいずれの領域でも高い正答率を維持しています。

算数では「数と計算」、「図形」、「測定」、「変化と関係」、「データの活用」の全てで東京都平均を上回っており、特に「数と計算」の正答率は 76.0% と高い水準です。

理科も同様に「エネルギー」、「粒子」、「生命」、「地球」の全ての柱において、東京都平均を上回る正答率を達成しています。

また、併せて行った児童質問紙の回答からは、多くの児童が学習意欲や自己肯定感をもっていることが示唆されます。

例えば、「自分には、よいところがあると思いますか。」（自己肯定感を見る質問です。）という質問に対しては、「とてもそう思う」、「まあそう思う」と回答した児童が合計で 83.6% に上ります。また、「将来の夢や目標をもっていますか。」という質問にも、「はい」と回答した児童が 64.5% と過半数を占めています。

## 2 教科別詳細分析と課題

### （1）国語の分析

本校の国語の調査結果は、全体として高い学力を示しており、東京都および全国の平均正答率を上回っています。これは、言語活動を通じて基礎的な知識・技能と思考力・判断力・表現力をバランスよく育む指導が功を奏していることを示唆しています。

#### ①知識・技能領域における強み

##### 【語彙力と文法知識】

「語句の意味や使い方」、「文の組み立て方」に関する問題で、高い正答率を記録しました。例えば、文中の語句の役割を問う問題や、類義語・対義語を適切に選ぶ問題において、多くの児童が正確に回答できています。これは、日常的な読書指導や漢字・語句の反復学習が効果を上げていることを示しています。

##### 【言語文化への理解】

「我が国の言語文化に関する事項」については、和歌や俳句の表現技法、古典的な物語の概要を問う問題などで、安定した成績を収めています。伝統的な言語文化を大切にする学校の教育方針が反映されていると考えられます。

##### 【情報活用能力】

「情報に関する事項」では、文章から必要な情報を正確に抜き出す問題や、複数の情報を比較・整理する問題において、正答率が非常に高い傾向にあります。これは、国語の授業だけでなく、総合的な学習の時間などを通じて、情報を効率的に処理するスキルが身に付いていることを示唆しています。

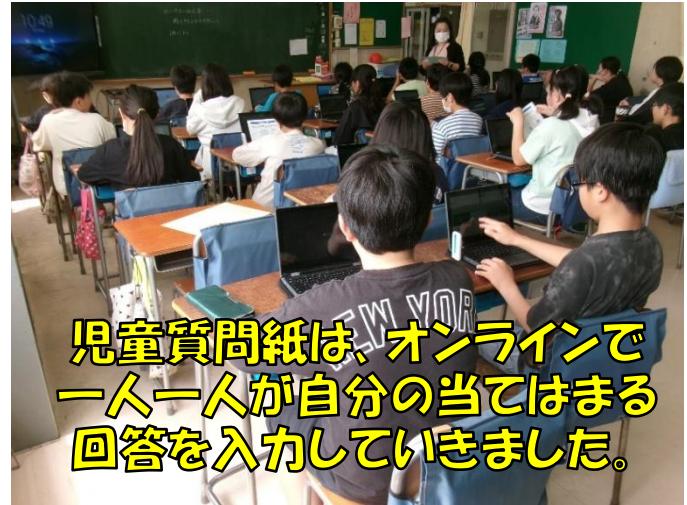
#### ②思考力・判断力・表現力領域における傾向と課題

##### 【読み解力と要旨把握】

「読むこと」の領域では、物語文や説明文の主題や要旨を正確に読み取る力は高いです。登場人物の心情の変化や、筆者の主張を問う選択肢問題では、高い正答率を維持しています。しかし、その根拠を文章中から探し出し、自分の言葉で説明する記述問題になると、一部の児童が苦戦する傾向が見られます。

##### 【記述表現の課題】

「書くこと」の領域では、自分の考えや経験を基に文章を構成する問題において、論理の飛躍や構成の不備が見られることがあります。例えば、与えられた資料を参考にして自分の意見を述べる問題では、資料の内容を単に引用するだけで、自分の考察が不足しているケースが見受けられます。これは、単に「書く」だけでなく、「なぜそう考えるのか」という論理的な思考プロセスを言語化する練習が不足している可



能性があります。

### 【聞くこと・話すことの潜在的課題】

「話すこと・聞くこと」の領域は、記述問題や選択肢問題では測りにくい部分ですが、「問題別（解答類型）調査結果」の記述解答の分析から、**他者の意見を要約する力や、自分の考えを相手に分かりやすく伝える構成力が今後の課題**として考えられます。

### ③今後の授業改善の方向性

#### 【記述指導の強化】

授業内で、**文章の要旨をまとめる練習、根拠を明確にした上で自分の意見を記述する練習を増やすことが重要**です。特に、複数の文章や資料を比較し、共通点や相違点を見付けて自分の考えを記述するよう、より高度な課題に取り組ませることで、思考力・表現力を更に伸ばすことができます。

#### 【対話を通じた学び】

児童同士が活発に議論する機会を設けることで、「聞く力」、「話す力」を育みます。例えば、**物語の登場人物の行動の理由についてグループで話し合ったり、説明文の主題について賛成・反対の意見を交わしたりする**ことで、多角的な視点をもつ力を養うことができます。

#### 【言語活動の多様化】

読書感想文や作文だけでなく、**新聞記事の作成、プレゼンテーション、ディベートなど、様々な形式で自分の考えを表現する活動を取り入れることで、児童の表現力を多面的に育成します。**



## （2）算数の分析

本校の算数の成績は、国語と同様に高い水準であり、東京都および全国平均を大きく上回っています。これは、基礎・基本の定着を徹底し、系統的な学習指導が行われている結果であると考えられます。

### ①知識・技能領域における強み

#### 【数と計算】

「数と計算」の領域は、正答率が 76.0% と非常に高く、東京都平均（68.6%）を大きく上回っています。これは、**四則計算の正確さや、概数の扱い、分数・小数の計算など、算数の土台となる力がしっかりと身に付いている**ことを示しています。例えば、小数のかけ算の問題や分数の引き算の問題では、ほぼ全ての児童が正しく解答していました。

#### 【図形と測定】

「図形」、「測定」の領域においても、東京都平均を上回る結果を収めています。**平面図形や立体図形の性質を問う問題、角度の計算問題、面積や体積を求める問題などで、多くの児童が正しい知識を適用**できています。また、時間の単位換算や重さの測定など、日常生活に即した問題にも適切に対応できています。

#### 【データの活用】

「データの活用」の領域も、正答率は 73.6% と高いです。特に、**棒グラフや折れ線グラフから数値を読み取る問題では、正答率が 90% を超える問題も複数見られました**。これは、データ活用の基礎となる情報読解力が十分に育まれていることを示しています。

### ②思考力・判断力・表現力領域における傾向と課題

#### 【文章題と応用問題】

**文章題や、複数のステップを要する応用問題になると、正答率がやや低下する傾向**が見られます。特に、「問題別（解答類型）調査結果」によると、ブロックの出荷量に関する問題で、グラフから単純な数値を読み取る問題は正答率 91.2% と非常に高かったのに対し、出荷量の増減を判断し、**その理由を説明する記述問題では、正答率が 35.3% に留まりました**。これは、単に数値を計算するだけでなく、問題文全体を理解し、数学的な思考を論理的に組み立て、それを説明する力に課題があることを示唆しています。

#### 【論理的な思考と説明】

記述問題の誤答の傾向を見ると、「～だから」、「～なので」といった論理的な接続が不十分であったり、

**問題の前提条件を見落としていたりするケースが見受けられます。これは、答えを導き出す過程を言葉で整理する訓練が不足していることを意味します。**

#### 【問題解決の多様性】

**決められた一つの解法に固執し、他のアプローチを試す柔軟性に欠ける児童も一部に見られます。様々な解法を比較検討し、より効率的な方法を探る力が今後の課題となる可能性があります。**

#### ③今後の授業改善の方向性

##### 【「なぜそうなるのか」を問う指導】

授業中に、答えだけでなく、その答えに至った思考プロセスや根拠を言葉で説明させる機会を増やします。「なぜこの式になるのか。」「この図形はどのような性質をもつのか」といった発問を積極的に行うことで、論理的な思考力を育成します。

##### 【記述式の課題の導入】

定期的な小テストや宿題に、答えだけでなく、**考え方や計算の過程を記述させる問題**を取り入れます。これにより、児童は自分の思考を整理し、論理的に表現する習慣を身に付けることができます。

##### 【協働的な問題解決学習】

グループワークを導入し、**複数の児童が協力して難易度の高い問題に取り組む機会**を設けます。互いの考えを共有し、議論する中で、多様な視点を獲得し、問題解決能力を高めることができます。

### (3) 理科の分析

本校の理科の調査結果は、**全教科の中で最も東京都平均との差が大きく、正答率68%と非常に高い学力水準**を示しています。これは、実験や観察を中心とした体験的な学習が充実しており、児童が科学的な知識を単なる暗記ではなく、実感を伴って理解していることを示唆しています。

#### ①知識・技能領域における強み

##### 【物質・エネルギー・生命・地球】

調査結果概況によると、**理科の四つの柱である「エネルギー」、「粒子（物質）」、「生命・地球」の全ての領域で東京都平均を上回っています**。例えば、電気や磁気の性質、水溶液の性質、植物の成長、天体や地層の知識を問う問題において、多くの児童が正確に回答できています。

##### 【実験方法の理解】

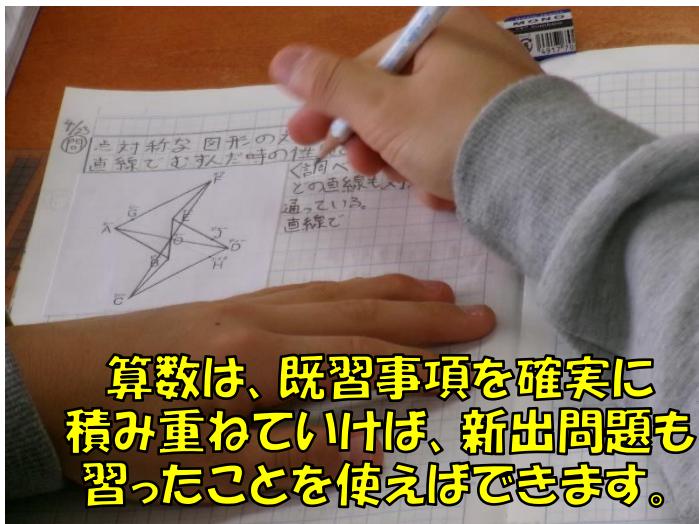
**実験における条件設定や操作方法に関する理解は非常に高いです。**赤玉土の粒の大きさと水のしみ込み時間の関係を調べる実験で、水の量や土の量を同じにする必要があることを問う問題では、正答率が89.2%に達しました。これは、児童が科学的な探究活動の基本的なプロセスを十分に理解していることを示しています。

#### ②思考力・判断力・表現力

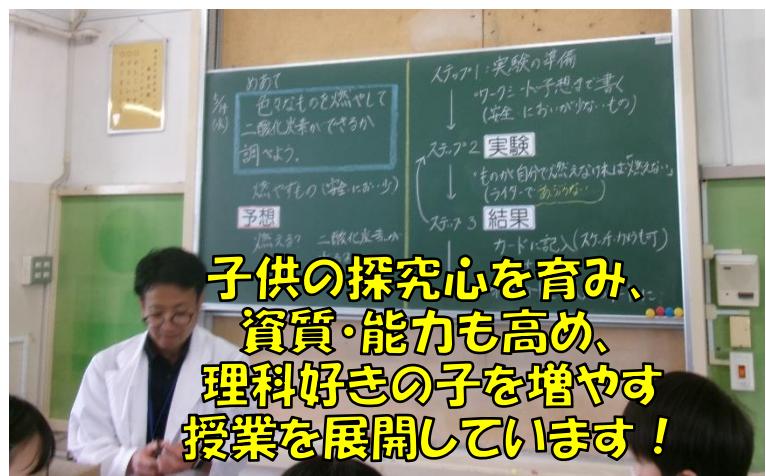
##### 領域における傾向と課題

##### 【記述表現の課題】

算数と同様、**理科でも記述問題に大きな課題**が見られます。前述の赤玉土の実験結果を考察し、理由を含めて記述する問題では、**学校の正答率が5.9%と、東京都平均(8.1%)をも下回る結果となりました**。誤答の傾向を見ると、「粒が小さいと隙間が少なくなる」という現象の観察はできているものの、「隙間が少ないから水がしみ込みにくい」という**因果関係を明確に論理立てて説明できていない**ケースが多数見受けられます。



**算数は、既習事項を確実に積み重ねていけば、新出問題も習ったことを使えばできます。**



## 【科学的な思考プロセスの言語化】

知識や実験の操作方法を理解していても、得られた結果を基に仮説を立てたり、結論を導き出したりする思考プロセスを自分の言葉で表現する力に弱さがあります。これは、日々の授業で「なぜこの結果になったのか」を考察し、言葉で説明する訓練が不足しているためと考えられます。

## 【データの活用と結論の導出】

複数の実験結果のデータや図表を読み解き、そこから科学的な結論を導き出す力も今後の課題です。单一のデータから結論を出すのではなく、複数のデータを関連付けて考察するような、より複雑な問題に対応する力を育む必要があります。

## ③今後の授業改善の方向性

### 【探究活動の充実】

児童が自ら問いを立て、実験を計画し、結果を考察する一連の探究活動を授業の中心に据えることが重要です。単に「実験をする」だけでなく、「なぜその実験をするのか。」「この結果から何が言えるのか。」を常に考えさせ、言語化する機会を増やします。

### 【科学的な表現の指導】

理科の授業においても、「～だから～になる。」、「～という結果から～と言える。」といった、科学的な論理に基づいた記述方法を丁寧に指導します。実験ノートを工夫し、観察結果、考察、結論を明確に区別して記述させる練習を重ねることも有効です。

### 【考察・討論の場の設定】

実験結果について、グループやクラス全体で活発に討論する時間を設けます。互いの考えをぶつけ合い、より妥当な結論を導き出すプロセスを体験することで、科学的な思考力と表現力を同時に育成します。

## 3 質問紙調査の分析

質問紙調査の結果は、本校の児童が、高い学習意欲や自己肯定感をもちながらも、人間関係や社会性においていくつかの潜在的な課題を抱えている可能性を示唆しています。この分析を通じて、児童の心の成長を支えるための具体的な教育活動を検討することが重要です。

### (1) 学習意欲・自己肯定感の高さ

#### 【学習への意欲】

多くの児童が「授業の内容はよく分かりますか。」という質問に「とてもそう思う」、「まあそう思う」と回答しており、授業に前向きに取り組んでいる様子がうかがえます。「家で自分で計画を立てて勉強をしていますか。」という質問に対しても、「はい」と回答した児童が過半数を占めており、自律的な学習習慣が身に付いていることが分かります。これは、学習指導が児童の知的好奇心を引き出し、意欲を高めることに成功している証拠です。

#### 【自己肯定感】

「自分には、よいところがあると思いますか。」という質問に対して、「とてもそう思う」、「まあそう思う」と回答した児童が合計で 83.6% に上りました。この結果は、児童が自分自身に価値を感じ、前向きな自己認識をもっていることを示しています。また、「将来の夢や目標を持っていますか」という質問にも、64.5% が「はい」と回答しており、自己の将来に希望をもっている児童が多いことが分かります。

### (2) 潜在的な人間関係の課題

#### 【先生との関係】

「先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか。」という質問に対し、「とてもそう思う」と回答した児童は 5 割を下回り、「まあそう思う」、「あまりそう思わない」と回答した児童も少なくありませんでした。

これは、教員が個々の児童のよい点を具体的に認め、伝える機会がまだ不十分である可能性を示唆しています。児童とのより個別的で丁寧な関わりが、更なる自己肯定感の向上につながると考えられます。

#### 【いじめへの対応】

「いじめは、どんな理由があってもいいことだと思いますか」という質問には 9 割以上の児童が「はい」と回答しており、いじめに対する規範意識は高いです。

しかし、「いじめを見たら、やめるように言ったり先生に知らせたりしますか」という質問には、「はい」と答えた児童が 7 割程度に留まり、規範意識と実際の行動との間に乖離が見られます。これは、いじめを傍

観してしまうことへの心理的な障壁や、具体的な対応方法についての知識不足があることを示唆しています。

### 【地域との関わり】

「近所の人と挨拶をしますか。」という質問に対し、「いつもする」、「時々する」と回答した児童が合計で約70%でした。これは高い水準ではありますが、**3割近い児童が地域との日常的な関わりが希薄であることを意味しています。学校外での多様な人間関係を築く機会の提供**も、今後の課題となり得ます。

### (3) 今後の授業改善の方向性

#### 【肯定的なフィードバックの充実】

授業や学校生活の中で、**児童の小さな努力や成長を具体的に褒め、認める言葉をかける**ことを意識します。自己肯定感の向上は、学習意欲や人間関係を円滑にする上で不可欠です。

#### 【いじめ防止教育の深化】

いじめは「いけないこと」という規範意識を高めるだけでなく、「もし自分がいじめを見たら、どう行動すべきか。」を具体的に考えるワークショップやロールプレイングを授業や学級活動に取り入れます。これにより、傍観者にならないための具体的な行動力を養います。

#### 【共感力を育む活動】

**道徳や学級活動の時間に、他者の気持ちを想像し、共感する力を育む活動**を重視します。例えば、異なる立場の人々の視点に立って物事を考えるディスカッションや、ボランティア活動への参加を通じて、多様な人々との関わりを深める機会を提供します。

これらは、現在の6年生の調査結果ですが、「本校全体の授業改善のための分析」と捉えて、学校全体での指導に生かすことが重要だと思います。どの学年、教科等であっても、この内容の通ずる部分がきっとあるはずです。日々の授業、校内研究等を関連付けながら、1時間、1時間の授業、そして単元（題材）全体の指導を大切にしていきます。

続いて、1学期に行った「新体力テスト」の結果の分析と、体力向上のための具体的な指針です。

## 1 各学年（1～6年）の体力傾向分析

比較対象である都平均および全国平均との差に注目し、各学年の男女別に強みと課題を把握しました。

### ① 1年生の傾向

種目	男子	女子
強み	握力、長座体前屈	握力、長座体前屈
課題	上体起こし、反復横跳び、20m シャトルラン	上体起こし、反復横跳び、20m シャトルラン

**傾向：**筋力と柔軟性では平均に近いか上回るもの、**全身持久力、敏捷性、筋持久力**が全国平均に比べて大きく不足しています。特にシャトルランと反復横跳びは男女ともに大きな課題です。

### ② 2年生の傾向

種目	男子	女子
強み	長座体前屈、20m シャトルラン	長座体前屈、50m走
課題	上体起こし、反復横跳び、ソフトボール投げ	上体起こし、反復横跳び、20m シャトルラン

**傾向：**男子はシャトルランで全国平均を上回るなど改善が見られますが、**上体起こしと敏捷性**の課題は継続しています。女子はシャトルランと反復横跳びで1年生に続き大きな差がついており、**全身持久力と敏捷性**の不足が深刻です。

### ③3年生の傾向

種目	男子	女子
強み	握力、長座体前屈、立ち幅跳び	握力、長座体前屈、立ち幅跳び
課題	反復横跳び、20m シャトルラン、ソフトボール投げ	上体起こし、反復横跳び、20m シャトルラン

傾向：長座体前屈（柔軟性）は男女とも非常に優秀です。筋力（握力・立ち幅跳び）も優位ですが、敏捷性（反復横跳び）と全身持久力（シャトルラン）の課題が依然として残っており、女子の反復横跳びは特に大きなマイナスです。

### ④4年生の傾向

種目	男子	女子
強み	上体起こし、長座体前屈、20m シャトルラン	長座体前屈、20m シャトルラン
課題	反復横跳び、ソフトボール投げ	反復横跳び

傾向：4年生は、男女とも総得点が全国平均を上回りました。男子は長座体前屈、上体起こし、シャトルランで優位ですが、反復横跳びは大きな課題です。女子は長座体前屈とシャトルランで大きな改善が見られましたが、反復横跳びが大きく全国平均を下回っており、敏捷性の継続的な維持が課題となります。

### ⑤5年生の傾向

種目	男子	女子
強み	50m走、立ち幅跳び	50m走、立ち幅跳び
課題	反復横跳び、20m シャトルラン、ソフトボール投げ	反復横跳び、20m シャトルラン、ソフトボール投げ

傾向：特に全身持久力（シャトルラン）と投能力（ボール投げ）で全国平均と大きく差が開きました。女子のシャトルランのマイナス幅は非常に大きく、対策が必要です。敏捷性と筋持久力も課題となっていきます。

### ⑥6年生の傾向

種目	男子	女子
強み	長座体前屈、50m走	握力、上体起こし、長座体前屈、50m走
課題	反復横跳び、20m シャトルラン、立ち幅跳び、ソフトボール投げ	反復横跳び、20m シャトルラン、ソフトボール投げ

傾向：女子は握力・上体起こしが全国平均を上回り、総得点も健闘していますが、男子はシャトルラン、立ち幅跳び、ボール投げの低迷が総得点を大きく押し下げています。男女とも小学校卒業に向け、全身の機能的な体力（持久力・瞬発力・投能力）の向上が最重要課題です。

### ⑦学校全体の体力向上の指針

学校全体の6学年平均を見ると、以下の傾向と具体的な対策が必要であることが分かりました。

#### 学校全体の傾向（6学年平均）

種目	男子	女子
強み	握力、長座体前屈、立ち幅跳び	握力、長座体前屈
課題	上体起こし、反復横跳び、20m シャトルラン、ソフトボール投げ	上体起こし、反復横跳び、20m シャトルラン、ソフトボール投げ

総括：全体として、柔軟性と静的な筋力（握力）は全国平均を上回るレベルにあるものの、「動的な体力」、すなわち全身持久力、敏捷性、筋持久力、投能力の項目で全国平均に比べて不足があることが分かりました。

### 【継続的な体力向上を目指す学校運営のために】

体力向上は一朝一夕では身に付きません。

学校全体で取り組み、運動を「日常化」させる必要があります。

○年間指導計画の見直しと授業改善：やはり、体育の授業が子供たちの体力向上に寄与することは言うまでもありません。運動量の確保を念頭に置いた体育の授業改善を目指します。

○データに基づく指導：今回のテスト結果を基に、「重点強化種目」を明確にし、次年度のテストで具体的な目標達成を目指していきます。

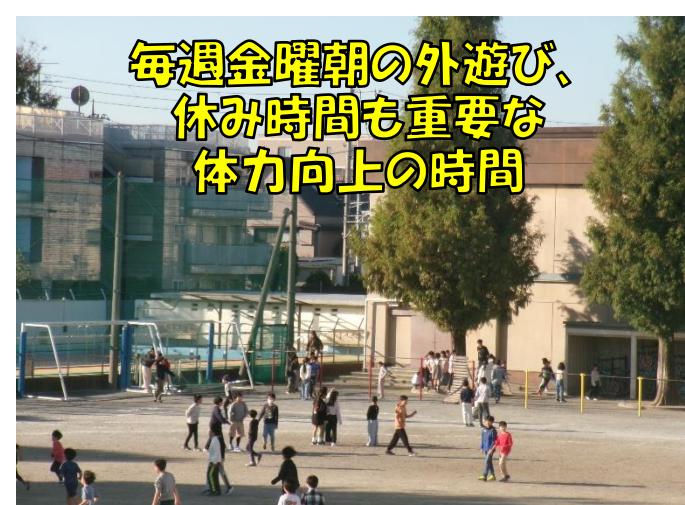
○その他、現在も行っている朝の外遊び、休み時間、もりもりウィーク等、身体を動かす機会を意図的に設定し、楽しみながら、遊びながら、体力向上ができるようにしていきます。



先週まで行っていた  
もりもりウィーク(持久走)  
一定時間、自分のペースで走りました。



運動量確保と  
確実な技能向上を目指す  
体育の授業改善



毎週金曜朝の外遊び、  
休み時間も重要な  
体力向上の時間

日	曜	朝	12月 行事予定(学年)	授業時数						最終下校時刻
				1年	2年	3年	4年	5年	6年	
1	月		振替休業日							月～金
2	火	全校朝会	連合音楽鑑賞教室(5)PM 会場 片付け(6)①	⑤	⑤	⑥	⑥	⑥	⑥	5時間授業 14:20 6時間授業 15:20 委員会クラブ 15:15
3	水	○	午前授業 安全指導 動育出前授業(1)AM 個人面談1	④	④	④	④	④	④	
4	木	○	午前授業 個人面談2	④	④	④	④	④	④	
5	金	朝遊び	午前授業 個人面談3	④	④	④	④	④	④	
6	土									
7	日									
8	月	児童集会	午前授業 個人面談4	④	④	④	④	④	④	
9	火	○	午前授業 警察署出前授業(3)② ③校庭・体育館 個人面談5	④	④	④	④	④	④	
10	水	○	午前授業 個人面談6	④	④	④	④	④	④	
11	木	○	避難訓練12:05	⑤	⑤	⑥	⑥	⑥	⑥	
12	金	たてわり班	短縮授業前半始(全)・午前授業(1～3)・5時間授業(4～6)	④	④	④	⑤	⑤	⑤	
13	土									
14	日									
15	月	児童集会	午前授業(1～3)・5時間授業(4～6) クラブ⑤	④	④	④	⑤	⑤	⑤	
16	火	○	午前授業(1・2)・5時間授業(3～6)	④	④	⑤	⑤	⑤	⑤	
17	水	○	午前授業 本のたんけんラリー(3)AM図書室	④	④	④	④	④	④	
18	木	○	午前授業(1・2)・5時間授業(3～6)	④	④	⑤	⑤	⑤	⑤	
19	金	朝遊び	短縮後半始 午前授業	④	④	④	④	④	④	
20	土									
21	日									
22	月	○	午前授業	④	④	④	④	④	④	
23	火	○	午前授業	④	④	④	④	④	④	
24	水	○	午前授業 給食終 大掃除	④	④	④	④	④	④	
25	木	終業式	3時間授業 2学期終業式	③	③	③	③	③	③	
26	金		冬季休業日始							
1/5	月		休務日(閉庁扱い)⑤							
6	火									
7	水		冬季休業日終							
8	木	始業式	3時間授業 3学期始業式	③	③	③	③	③	③	
9	金	朝遊び	期首短縮授業終 午前授業 安全指導 給食始 身体計測(6)	④	④	④	④	④	④	

【1～2月の生活目標】  
生活指導部より

みんなのものを大切にしよう  
休み時間で使うボールや一輪車などみんなで使う物、一つ一つを大切にしましょう。また、自分が使った物の後片付けもしっかりしましょう。

## 全学年共通のお知らせ

### 1. 個人面談について

12月3日(水)・4日(木)・5日(金)・8日(月)・9日(火)・10日(水)に個人面談を実施します。各クラスで配布された日程通知をご確認の上、ご来校いただきますようよろしくお願ひいたします。

また、個人面談の際にキャリアパスポート内にある「保護者の方より」の欄を記載していただくようお願いします。1学期、2学期を経て、お子さんの成長した点や今後期待していることなど、お書きください。ご協力をお願いします。

### 2. 3学期始業式について

日時：1月8日(木)

8：15～8：25登校 3時間授業

持ち物：上履き、防災頭巾、筆箱、連絡袋、連絡帳、冬休みの宿題、

道具箱（9日金曜日までに持ってきていただきますようよろしくお願ひします。）

### 3. 給食着の運用について

給食当番では、共用の給食着（白衣・エプロン）を使用することを基本としていますが、柔軟剤の香りや衛生面での不安、その他のご事情がある場合には、各ご家庭で用意した給食着（エプロン等）を使用することも可能です。希望する場合は、担任の先生へご連絡ください。

また、給食着をご家庭で洗濯される際には、香りの強い柔軟剤等の使用を控えていただくようご配慮をお願いします。香りによって体調に影響を受ける児童もいますので、皆様のご理解とご協力をお願いします。

## 各学年からのお知らせ

### 1年生【主な学習予定】

国語	たぬきの糸車 日づけとよう日 てがみ でしらせよう むかしばなしをよもう 書写 かきぞめのれんしゅう	音楽	めざせがっきめいじん にっぽんのうたみんなのうた おんがくランド
算数	ひきざん けいさんぴらみっど どんなけいさんになるのかな？	図工	くしゃくしゃだいへんしん ふわっふわっゴー
生活	なかよくなろうね小さなともだち かぞくにこにこ大さくせん	道徳	国際理解、国際親善 家族愛、家庭生活の充実 伝統と文化の尊重、国や郷土を愛する態度
【お知らせとお願い】		体育	跳び箱・マット・平均台遊び ボール投げゲーム

#### ○図工の材料

「ふわっふわっゴー」で使う材料（スチレン容器・・・お肉のトレーなど）を12月9日（火）までにご用意ください。図工の教科書を持ち帰らせますので、詳細を教科書（上）P.46 P.47でご覧ください。

#### ○硬筆書き初め練習

12月に学校で書き初め練習をし、1月に書き初めを行います。4B鉛筆を学校で用意します。家庭に持ち帰り、冬休みの練習でもお使いください。

#### ○生活科「かぞくにこにこ大さくせん」

家族の素敵なところをたくさん見つけ、家族の素晴らしいところをまね、家族のためにできることを考えて実践するという活動をします。家族の素晴らしさを認め、家族の一員としての心を育てていくことがねらいです。初めは、家族のために行っている家の中での仕事を探し、次は、おうちの方に聞いたり教わったりして、みんなにその仕事を詳しく紹介していきます。「大好きな家族のために、少しでも役に立つことをお手伝いしたい、できるようになりたい。」その願いを叶えるため、やり方をおうちの方に教えてもらおうという活動です。ご協力をお願いします。

#### ○道具の持ち帰り

12月中頃から学校にある荷物を家に持ち帰ります。持ち帰る物や持ち帰る日は、担任がお知らせします。持ち帰り用の手さげ袋をご用意ください

※冬休みの宿題については後日お知らせします。

2年生【主な学習予定】			
国語	みきのたからもの お話のさくしゃになろう 冬がいっぱい 書写（書き初め）	音楽	音楽のながれ くりかえしとかさなり みんなの音楽
算数	かけ算	図工	わくわくカッタナイフ まどにあるたてもの
生活	おもちゃづくり 冬さがし	道徳	家族愛、家庭生活の充実 勤労、 公共の精神 感動、畏敬の念
【お知らせとお願い】		体育	ボールゲーム 鉄棒を使った運動遊び

○書き初めについて  
12月から書初めに向けての学習が始まります。昨年購入した硬筆鉛筆を使用して練習を進めていきますので、準備をお願いします。硬筆用をお持ちでない場合は、4Bの鉛筆を持たせてください。

○生活科 おもちゃづくりについて  
身近な材料を使っておもちゃづくりをしています。作りたい物や材料はそれぞれ違います。児童が連絡帳に書いた物が分からない場合は、担任までご連絡ください。

※冬休みの宿題については後日お知らせします。

3年生【主な学習予定】			
国語	三年とうげ わたしの町のよいところ 冬のくらし 書写（書き初め）	図工	カラフル粘土でマイボックス
算数	重さのたんいとはかり方	体育	ベースボール型ゲーム マット運動 幅跳び・高跳び
理科	物の重さ 音のせいしつ	道徳	感動、畏敬の念 国際理解、国際親善 親切、思いやり
社会	安全なくらし（事件や事故を防ぐ）	外国語 活動	When is your birthday?
音楽	<音のスケッチ>雪のおどり	総合	練馬大根はかせになろう

【お知らせとお願い】

○冬休みの宿題について

- ・書き初め…書き初め用紙を3枚配布します。よく書けたもの1枚を提出します。
- ・2学期までの復習…計算や漢字を中心に苦手なところを復習します。
- ・学用品の補充…記名の確認、足りない物の補充、道具箱の整理整頓などを行います。

○出前授業「練馬警察署安全教育」  
12月9日（火）、社会科「事故や事件をふせぐ」の学習の一貫で、練馬警察署の方をお呼びして、安全を守るためにの警察の取り組みなどについて学習します。

○本の探検ラリー  
12月17日（水）、NCBN（ねりま子どもと本ネットワーク）さんによる本の探検ラリーを実施します。クイズ形式で、子どもたちが様々な本に触れてていきます。

4年生【主な学習予定】			
国語	もしものときにそなえよう 冬の楽しみ 書きぞめの練習（書写）	図工	木々を見つめて
算数	分数をくわしく調べよう 変わり方に注目して調べよう	体育	小型ハードル走 跳び箱運動 ネット型ゲーム
理科	物の体積と温度 物のあたたまり方	道徳	希望と勇気、努力と強い意志 公正、公平、社会正義 親切、思いやり
社会	まちの発展につくした人	外国語 活動	Alphabet What do you want?
音楽	音楽会の振り返り とんび もみじ 日本と世界の音楽	総合	身近な福祉について
【お知らせとお願い】			
○理科室での学習について			
理科室での学習の際には、実験で火を扱う場合があります。安全のため、袖の長い服、ひも付きのパーカー、過度な装飾のある服は避けるようお願いします。			
また、髪の長い児童については必ず髪を結ぶようお願いします。			
○書き初めの練習について			
1月に席書会（書き初め会）があります。新年を迎えるにあたって、心豊かに筆をとるという日本独自の文化を味わう態度を育てるとともに、用紙に応じた文字の大きさや配置も勉強します。12月の書写の学習でも練習します。床に敷いたり、書き終わった作品を挟んだりするのに使うため、新聞紙がご家庭にありましたら持たせてください。			
○冬休みの宿題について			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・書き初め…書き初め用紙を3枚配布します。よく書けたもの1枚を提出してください。</li> <li>・2学期までの復習…計算や漢字を中心に苦手なところを復習しましょう。</li> <li>・学用品の補充…記名の確認、足りない物の補充、道具箱の整理整頓などをしましょう。</li> <li>・お手伝い…新年を迎える準備、家の大掃除など、お手伝いをたくさんしましょう。</li> </ul>			

5年生【主な学習予定】			
国語	漢字の広場④ 書写（書初め） やなせたかし 一アンパンマンの勇気 あなたは、どう考える 冬の朝	図工	ビー玉コースター
		道徳	個性の伸長 相互理解、寛容 公正、公平、社会正義
算数	四角形と三角形の面積 割合	体育	鉄棒 ベースボール型ゲーム ネット型ゲーム
理科	流れる水のはたらき 物のとけ方	家庭科	食べて元気！ご飯とみそ汁 気持ちがつながる家族の時間
社会	日本の工業生産の今と未来 未来につながる情報 情報を伝える人々とわたしたち	外国語	まとめ 世界の友達 2／You can do it!2 What would you like?
音楽	音楽会の振り返り	総合	練馬区の良さを伝えよう

【お知らせとお願い】

○連合音楽鑑賞教室について

12月2日(火)に連合鑑賞教室があります。午前中、学校で授業を受けた後、練馬文化センターへ移動し、音楽鑑賞をします。徒歩での移動となるため、当日はリュックサックで登校をお願いします。帰校後、下校となります。下校時刻は、15時40分ごろを予定しています。

持ち物:水筒、筆箱、連絡帳、給食袋(午前中に使用する学習用具は、前もって学校に置いておきます。)

折り畳み傘

○家庭科について

3学期に家庭科でエプロンを作ります。注文用紙を12月8日(月)に配布します。提出日は、12月18日(木)です。「カラフルエプロン」の中から選んでください。飾りは、フェルトやレースなどを使って仕上げます。お子さんと相談の上、ご準備をお願いします。

また、ミシン使用時の安全面の見守りや使用法の簡単なアドバイスなどを、保護者のみなさまにご協力をお願いいたします。後日別紙にてお知らせ致します。

○冬休みの宿題について

- ・書き初め…新年に書初めを行い、3枚のうち1枚を提出します。
  - ・2学期までの復習…計算や漢字を中心に苦手なところを復習します。
  - ・学用品の補充…記名の確認、足りない物の補充、道具箱の整理整頓などを行います。
- 冬休みは、年末年始の行事などもあります。ぜひおうちでも1年を振り返り、新たな年の意気込みなどを話してみてください。学習を計画的にすすめられるよう、声かけをお願いします。

6年生【主な学習予定】			
国語	ぼくのブックウォーマン/おすすめパンフレットを作ろう 書き初め	図工	KOMAKOMA
		体育	跳び箱 フラッグフットボール
算数	並べ方と組み合わせ 考える力をのばそう	道徳	正直、誠実 希望と勇気、努力と強い意志 国際理解、国際親善 公正、公平、社会正義
理科	電気と私たちの暮らし	家庭科	まかせてね、今日の食事
社会	戦争と人々の暮らし 平和で豊かな暮らしを目指して	外国語	Unit6 「Save the animals」
音楽	音楽会の振り返り	総合	自分の未来をデザインしよう
【お知らせとお願い】			
<u>○冬休みの宿題</u>			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・書き初め 新年に書き初めを行い、3枚のうち1枚を提出します。</li> <li>・家庭科ノート P.24 食事作りの計画を立て、実践しましょう。</li> <li>・学用品の補充…記名の確認、足りない物の補充、道具箱の整理整頓などを行います。</li> </ul>			
<u>○社会科見学について</u>			
<p>2月24日(火)、キッザニア東京へ社会科見学に行きます。キャリア教育の一環で、社会にある仕事体験を通して、将来の見通しをもつことを目的に行きます。当日は、バスで向かいます。通常より早い登校や道路状況によって、下校時刻の遅れが考えられます。予定の調整をご検討ください。また、キッザニア内で昼食ができますので、お弁当はなしです。</p> <p>昼食や体験内での食事を行います。現時点でのアレルギー内容を個人面談の際に資料をお渡しします。内容をご確認の上、参加していただくようご協力をお願いいたします。詳細は、後日お知らせいたします。</p>			